

Call for papers

International Symposium on Porous Materials 2023 LAURELIN Open Symposium in Japan 2023

<http://www.nc.iir.titech.ac.jp/2023/index.html>

【趣旨】

ゼオライトを含むナノ空間材料は、石油精製・石油化学分野における効率的な資源・エネルギー循環プロセスの創出から、自動車排気ガス浄化を含む、大気、土壌、水質などの環境汚染や福島原子力発電所の事故に関する放射性物質の除去、吸着特性を生かした建材への利用など、多様な産業分野において重要な材料であり、欧米、アジアと世界的に研究が行われています。このようなナノ空間材料分野を日本が牽引し、社会の期待に応えていかなければなりません。2019年に、近年このナノ空間材料分野において多くの成果をあげている中国、韓国など東アジア地域に焦点をあて、この分野で活躍している世界トップクラスの研究者、さらにライジングスターといえる若手研究者らを集め、彼らの最新の研究成果に触れ、また彼らとのネットワークの構築を目的とした International Symposium on Porous Materials 2019 を東京にて開催しました。2020年以降、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響もありましたが、対面とオンラインのハイブリッド式で2020年、2021年、2022年と開催してきました。本年、第5回目として、5th International Symposium on Porous Materials 2023 を開催します。今回は EU-Horizon 2020 ならびに JST SICORP の支援で行われている「革新的水素化技術を基盤にした二酸化炭素と再生可能水素からのグリーンメタノール合成，“LAURELIN”プロジェクト(<https://laurelin.eu/>)と共同で開催し致します。本シンポジウムはオンラインと対面の両方を活用した新しい国際シンポジウムになります。奮ってご参加ください。

【開催方式】

個人、大学や企業などの組織、あるいは地域単位で会場を設け、それぞれをオンラインでつないだシンポジウム



【主催】 International Symposium on Porous Materials 2023 実行委員会

東京工業大学ナノ空間触媒研究ユニット

【協賛】 日本ゼオライト学会、触媒学会、触媒学会規則性多孔体研究会、石油学会（予定）

【会期】 2023年11月23日～24日

【会場】 オンラインならびに東京会場によるハイブリッド開催

東京会場：東工大蔵前会館くらまえホール（住所：〒152-0033 東京都目黒区大岡山2丁目10-1）



【プログラム】

招待講演（30 min）、ならびに若手研究者/学生による口頭（15 min）・ポスター発表（1 h）

(Confirmed) Invited lecturers featuring LAURELIN <https://laurelin.eu/>

Prof. Fernando Rey (ITQ, Spain)

Prof. Pascual Oña (ITQ, Spain)

Prof. Luis Miguel Martinez Prieto (ITQ - Sevilla University, Spain)

Prof. Andrew Bale (UCL, UK)

Prof. Christopher Hardacre (UoM, UK)

Prof. Teruoki Tago (Tokyo Tech, Japan)



【発表・参加申込方法】

口頭、ポスター発表希望者は下記の情報を明記の上、アブストラクト（本シンポジウム web サイトよりテンプレートを入手）とあわせて e-mail にてお申し込みをお願いいたします。

氏名、所属（学生は研究室名）、参加区分（一般/学生）、希望発表方式（口頭・ポスター）

E-mail（東工大 横井）：yokoi@cat.res.titech.ac.jp

発表申込締め切り：2023 年 9 月 15 日（金）

【参加費（pdf 版要旨集合含む）】

支払方法：クレジットカード、コンビニ・ATM（ペイジー）・オンライン決済（Peatix Japan(株)経由）

詳細は後日 web 上でお知らせ致します。

支払い完了後、参加方法および予稿集のダウンロード方法をご案内いたします。

ご参加を申し込み終了時点で、「**Participant policy**」への同意したものとします。

参加費（オンライン、東京会場での参加とも共通）

シンポジウム参加費 一般 15,000 円 学生 5,000 円

懇親会（11/23） 一般 5,000 円 学生 5,000 円

Participant policy

- ・ Participants must comply with researcher ethics regarding the handling of any pieces of information presented by speakers.
- ・ Only the registered person can participate in the presentation, and it is strongly prohibited to disclose the information obtained by the participation to a third party by posting it on SNS (e.g., Twitter).
- ・ No photography, videography, or other recordings (including screen capture/video/audio) is permitted from the viewpoint of protecting copyrighted works and intellectual property.
- ・ Participants should check the operation of Cisco Webex before his/her online presentations to ensure the session goes smoothly.
- ・ If an attendee violates the participant policy and/or acts disturbing the research presentation, the organizing committee reserve the right to disqualify the attendee and prohibit re-entry.
- ・ The application for participation should be made on understanding and agreement to the above participant policy.

【問合せ先】

日本 横井 俊之（東京工業大学）E-mail: yokoi@cat.res.titech.ac.jp

脇原 徹（東京大学）E-mail: wakiyara@chemsys.t.u-tokyo.ac.jp

中国 Xiangju Meng, Professor

Department of Chemistry, Zhejiang University, E-mail: mengxj(at)zju.edu.cn

Zhendong Liu, Assistant Professor

Department of Chemical Engineering, Tsinghua University, E-mail: liuzd(at)tsinghua.edu.cn

韓国 Minkee Choi, Professor

Korea Advanced Institute of Science and Technology, E-mail: mkchoi@kaist.ac.kr

台湾 Kevin C.-W. Wu, Professor

National Taiwan University, E-mail: kevinwu@ntu.edu.tw

Dun-Yen Kang, Professor,

National Taiwan University, E-mail: dunyen@ntu.edu.tw